

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型支援施設あーす（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～ 令和7年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 16名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 10日		～ 令和7年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然に囲まれ、のびのびと過ごすことのできる環境	施設周辺の散歩や四季折々の行事を計画しています。園庭も広く遊具や自転車で遊ぶことができます。	様子を見ながら声掛け等を行い楽しんで体を動かし健康的な生活が出来るよう取り組んでいきます。加えて交通ルールなど社会での生活に必要なことを伝えていきます。
2	祝日や長期休暇等の際には長時間の預かりに対応しています	長時間の預かりを行うことで利用者の特性を深く理解し、計画に落とし込めることに繋がります。それらが当施設のガイドラインにおける基本活動の一つ自立支援と日常生活充実のための活動になっています。	利用者の特性を理解した上で個々にあった支援プログラムを作成していきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の発信力	情報発信の手段が現状ご家庭に配布している広報紙だけになっています。普段の様子が中心で各種マニュアルの設定や訓練、研修の情報の発信は少なく、また配布する範囲も限定的になっています。	状況に合わせて別のフォーマットにて情報を発信できる環境を整備していきたいと考えています。
2	地域社会との関りをもてる機会が少ない	支援学校や支援クラスと施設のやり取りが中心で、街中より離れているので地域や普通学校との関係をもてる機会が難しい。最初に繋がるための部分を考えていきたい。	常日頃より些細な関りでも大切にしていきながら関係を深め、連携や企画が出来るよう検討していきます。
3			